

○報酬問題、6月議会を終えて

高木はこれまで議員報酬の値上げに反対の立場で発言をし、この HP にもその旨を記載して参りました。残念ながら力及ばず、6月議会では賛成多数で可決してしまいましたが、今後も来年3月の減額条例の期限見直しの機を最も重要な機会と捉え、報酬額そのものの見直しを求めて行きます。

→報酬問題、詳しくは市政報告 Vol.8 では、「高木は上がってしまった報酬をどうするのか」という問題ですが、今回反対した値上げの差額分について、今後一切自らの生活費にはしないことを決意致しました。具体的には、自らの政治団体への寄付とし、その活動を通じて市民還元を図っていくことにしました。政治団体は収支報告義務があり、情報公開の対象です。適正に使われているか、皆様の目でチェックしてください。